

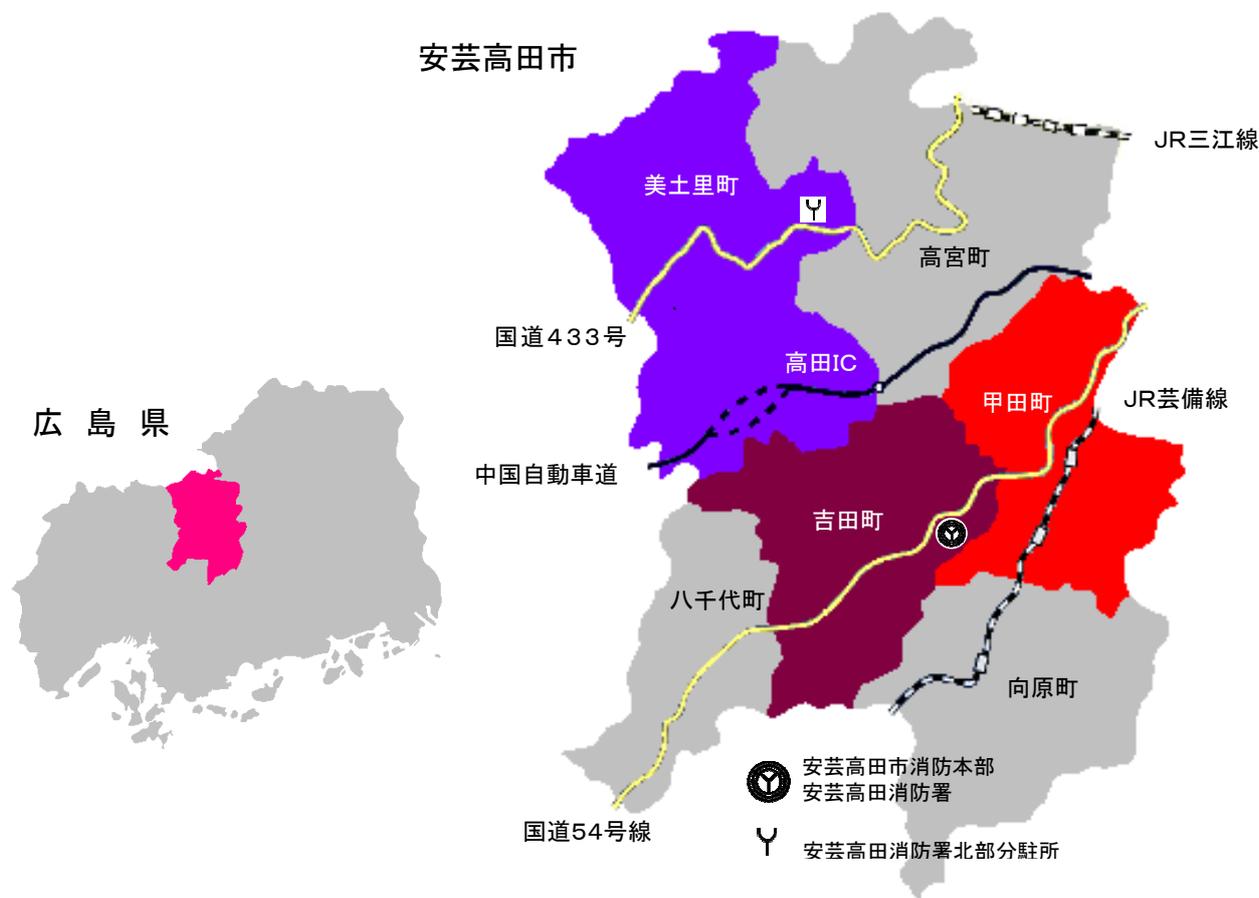
1 位置及び地勢

当消防本部は、広島県の中北部に位置し、北は島根県邑南町、南端は広島市及び東広島市、東端は三次市、西端は北広島町に接し、管内面積537.79km²（一部境界未確定部分あり）と広大な管轄区域を有しているが、市内全域に山が多く、鷹ノ巣山、大土山、犬伏山等大小さまざまな山に囲まれ、面積の約80%を占めている。その山間を縫って中央部を江の川が貫流し、北部は生田川、本村川が東流してそれぞれ江の川に注ぎ、南部に三篠川が西流して太田川に合流している。特に江の川の洪水調節及び下流沿川の農地かんがい用水の供給、さらに水資源の広域的な利用を図るため、広島市等に都市用水供給とあわせて発電を行う多目的ダムとして土師ダムがある。

交通路としては市内の中央部に広島松江を結ぶ国道54号線が、北部には国道433号線が貫通し、その他吉田邑南線、広島三次線等、主要地方道が市内各町を結んでいる。

また、東西に市内総延長20.754kmの中国自動車道が走り、高田インターチェンジと共に、昭和54年供用開始となっている。

鉄道は、北は三次・江津を結ぶJR三江線、南は広島・山陰を結ぶJR芸備線が走っている。



2 管内面積・人口・世帯数

(平成21年4月1日現在)

	総面積	世帯数	人口
吉田町	84.81 km ²	4,748 世帯	11,218 人
八千代町	50.60 km ²	1,591 世帯	3,881 人
美土里町	123.25 km ²	1,175 世帯	3,281 人
高宮町	124.46 km ²	1,749 世帯	4,119 人
甲田町	72.55 km ²	2,166 世帯	5,519 人
向原町	82.12 km ²	1,812 世帯	4,362 人
合計	537.79 km ²	13,241 世帯	32,380 人

3 人口・世帯数の推移

(平成21年4月1日現在)

	吉田町		八千代町		美土里町		高宮町		甲田町		向原町	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
15年	4,557	11,598	1,514	4,158	1,177	3,533	1,788	4,568	2,145	5,981	1,828	4,786
16年	4,589	11,762	1,510	4,152	1,178	3,526	1,781	4,544	2,103	5,940	1,829	4,743
17年	4,574	11,485	1,510	4,027	1,186	3,456	1,786	4,424	2,115	5,884	1,830	4,647
18年	4,696	11,498	1,532	3,953	1,179	3,456	1,777	4,345	2,124	5,766	1,833	4,599
19年	4,707	11,367	1,541	3,910	1,187	3,401	1,773	4,277	2,136	5,700	1,858	4,568
20年	4,726	11,276	1,577	3,910	1,178	3,333	1,750	4,177	2,144	5,569	1,839	4,461
21年	4,748	11,218	1,591	3,881	1,175	3,281	1,749	4,119	2,166	5,519	1,812	4,362

※上記の数値は、各年の4月1日現在のものです。

4 消防庁舎等の状況

名称	所在地	庁舎状況等
安芸高田市 消防本部	安芸高田市吉田町吉田 751 番地 1	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 4 階建 敷地面積 1, 014. 680 m ² 建築面積 740. 130 m ² 延床面積 2, 183. 920 m ² 設備 40 t 有蓋防火水槽
安芸高田 消防署		
安芸高田消防署 北部分駐所	安芸高田市美土里町北 788 番地 1	鉄筋造アルミニウム板瓦平屋建 敷地面積 1, 504. 3 m ² 延べ面積 325 m ²
安芸高田消防 ヘリポート	安芸高田市吉田町相合 674 番地 1	面積 4, 938 m ² 設備 夜間照明（移動式） 40 t 有蓋防火水槽



5 安芸高田市消防本部の沿革

年 月 日	概 要
昭 46 10 1	高田地区消防組合設立許可
昭 46 11 1	初代高田地区消防組合管理者 佐々木末雄氏 就任
昭 46 11 25	初代高田地区消防組合議会議長 中迫佐津美氏 選出
昭 46 12 10	初代高田地区消防組合消防本部消防長を管理者 佐々木末雄氏 事務取扱
昭 47 1 1	消防職員 7 名採用 実員 7 名
〃	吉田町保育所跡を仮庁舎とし教育訓練を開始
昭 47 3 1	吉田町消防団より救急業務を引き継ぎ救急業務開始（吉田、八千代、美土里、高宮、甲田町）
昭 47 4 1	消防職員 3 名採用 実員 10 名
昭 47 4 5	消防本部、署を置かなければならない市町村を定める政令の指定を受ける
昭 47 11 12	消防無線中継基地局用地購入（甲田町 平佐山）
昭 48 1 12	広報車（三菱）購入
昭 48 1 29	小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）、小型動力ポンプ（B3級）購入
昭 48 2 1	消防職員 9 名採用 実員 19 名
昭 48 3 27	消防職員 1 名採用 実員 20 名
昭 48 3 30	消防ポンプ自動車（トヨタ A2級）、水槽付消防ポンプ自動車（トヨタ A2級）購入
昭 48 3 29	二代目高田地区消防組合議会議長 常友晴夫氏 選出
昭 48 3 31	消防無線設備整備（中継基地局 1）
昭 48 4 1	高田地区消防組合消防本部（署）発足
〃	初代高田地区消防署署長 児玉静秋氏 就任
〃	消防職員 3 名採用 実員 23 名
昭 48 9 1	消防本部・消防署庁舎新築工事着工
昭 49 1 1	二代目高田地区消防組合消防本部消防長 児玉静秋氏 就任
昭 49 3 31	救急自動車（トヨタ 2B型）購入
昭 49 4 1	消防職員 5 名採用 実員 28 名
昭 49 5 8	高田地区消防組合消防本部（署）庁舎落成式
昭 49 7 1	三菱ジープ（J-52）購入
昭 50 4 1	消防職員 2 名採用 実員 30 名
昭 52 4 14	庁舎裏車庫及び倉庫竣工（軽量鉄骨 2 階建、建築面積 50 m ² 延面積 90 m ² ）
昭 52 10 18	三代目高田地区消防組合議会議長 己岡誠輝氏 選出
昭 53 9 1	救急指令台、自動気象観測装置整備
昭 54 2 28	指揮車（トヨタ）購入

昭 54	1	3	消防職員 1 名退職 実員 2 9 名
昭 54	4	1	消防職員 3 名採用 実員 3 2 名
昭 54	4	27	(社) 日本損害保険協会から救急車 (トヨタ 2 B 型) 寄贈
昭 54	11	20	消防無線中継基地変更 (平佐山→大仙山)
昭 55	2	19	資器材搬送車 (三菱) 購入
昭 55	3	28	林野火災用小型動力ポンプ購入
昭 55	11	17	消防職員 1 名退職 実員 3 1 名
昭 55	11	18	三代目高田地区消防組合消防本部消防長を管理者 佐々木末雄氏 事務取扱
	〃		二代目高田地区消防署長 村上 紘 就任
昭 56	2	18	初代高田地区消防組合管理者 佐々木末雄氏 退職
昭 56	2	19	二代目高田地区消防組合管理者 児玉静秋氏 就任
	〃		四代目高田地区消防組合消防本部消防長を管理者 児玉静秋氏 事務取扱
昭 56	10	17	消防ポンプ自動車 (三菱 A 2 級) 購入
昭 56	12	24	四代目高田地区消防組合議会議長 熊高五郎氏 選出
昭 57	4	1	消防職員 3 名採用 実員 3 4 名
昭 57	7	12	消防無線地上基地局設置
昭 58	3	28	有線放送一斉指令装置、緊急放送送出器の交換設置
昭 58	3	31	広報車 (ニッサン) 購入
昭 59	12	10	広島県同栄社共済農業協同組合連合会から救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 寄贈
昭 60	1	23	(社) 日本損害保険協会から救急車 (日産 2 B 型) 寄贈
昭 60	1	30	消防無線中継局設備工事完成
昭 60	3	31	消防無線中継局遠隔制御器工事完了
昭 60	8	21	(財) 日本消防協会から査察車 (三菱) 寄贈
昭 60	11	28	消防無線非常電源装置設置
昭 60	12	26	五代目高田地区消防組合議会議長 鎗分元三氏 選出
昭 61	12	10	消防無線第三期無線工事完成
昭 62	11	7	小型動力ポンプ (トーハツ B 2 級) 購入
昭 63	3	22	小型動力ポンプ付積載車 (マツダ) 購入
昭 63	4	1	五代目高田地区消防組合消防本部消防長 村上 紘 就任
平 1	2	19	三代目高田地区消防組合管理者 広本 惇 氏 就任
平 1	3	10	高田地区消防組合と山県東中部消防組合による人事交流調印式
平 1	3	31	消防通信指令システム (Ⅱ 型指令装置) 運用開始
平 1	4	1	高田地区消防組合と山県東中部消防組合による人事交流
平 1	8	7	(財) 日本消防協会から電源照明車 (ニッサン) 寄贈
平 2	4	1	消防職員 2 名採用 実員 3 6 名
平 2	7	31	(社) 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-1 級) 寄贈

平	3	4	1	高田地区消防組合と山県東中部消防組合による第2次人事交流
平	3	6	26	坂本重工から広報車（マツダ）・救急車（マツダ 2B）の寄贈
平	4	9	8	地図検索装置用電話番号検索ソフト購入
平	5	4	1	消防職員4名採用 実員40名
		〃		高田地区消防組合と山県東中部消防組合による第3次人事交流
平	6	2	28	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）購入
平	6	9	5	（財）日本消防協会から調査車（三菱）寄贈
平	6	6	30	消防職員1名退職 実員39名
平	6	11	29	可搬ポンプ（シバウラB2級・無水弁付）購入
平	7	4	1	消防職員4名採用 実員43名
		〃		高田地区消防組合と山県東中部消防組合による第4次人事交流
平	8	4	1	消防職員5名採用 実員48名
		〃		向原町消防常備化業務開始、高田地区消防組合加入
平	8	7	6	四代目高田地区消防組合管理者 児玉更太郎氏 就任
平	8	7	9	高田地区消防組合消防本部（署）庁舎増築工事着工
平	8	8	20	五代目高田地区消防組合管理者 浜田一義氏 就任
平	9	3	31	高田地区消防組合消防本部（署）庁舎増築工事竣工
		〃		気象情報収集装置及び気象情報標示板設置
平	9	4	1	高田地区消防組合と山県東中部消防組合による第5次人事交流
平	9	12	24	六代目高田地区消防組合議会議長 岡田信夫氏 選出
平	10	2	29	災害対応特殊救急車（イスズスーパーメディック）購入
平	10	3	31	消防職員1名退職 実員47名
平	10	4	1	消防職員1名採用 実員48名
		〃		高田地区消防組合と山県東中部消防組合による第6次人事交流
平	10	6	30	消防職員1名退職 実員47名
平	11	4	1	三代目高田地区消防署長 竹川信明 就任
		〃		消防職員1名採用 実員48名
		〃		高田地区消防組合と山県東中部消防組合による第7次人事交流
平	11	10	31	消防職員2名退職 実員46名
平	12	2	17	（財）日本消防協会から広報車（マツダ）寄贈
平	12	3	31	消防職員1名退職 実員45名
平	12	4	1	消防職員2名採用 実員47名
		〃		高田地区消防組合と山県東中部消防組合による第8次人事交流
平	12	4	4	林野火災活動拠点広場（高田消防ヘリポート）完成竣工式
平	12	4	25	J Aたかたから救急車（ニッサン 2B）寄贈
平	12	10	3	（社）日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ A-1級）寄贈

平 13	4	1	消防職員 1 名採用 実員 4 8 名
平 13	10	12	七代目高田地区消防組合議会議長 天清斐雄氏選出
平 14	4	1	消防緊急通信指令施設 (I 型) 運用開始
	〃		消防無線基地局更新
平 14	4	1	高田地区消防組合と山県東中部消防組合による第 9 次人事交流
平 15	10	31	災害対応特殊救急自動車 (ニッサン・パラメディック) 購入
平 16	2	29	高田地区消防組合解散
平 16	3	1	構成町合併により、旧高田郡 (吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町) から安芸高田市となる。 安芸高田市消防本部・安芸高田消防署発足 実員 5 0 名 安芸高田市消防本部消防長 村上 紘 就任 安芸高田消防署署長 竹川信明 就任 行政職からの出向消防職員 2 名採用
平 17	4	1	消防職員 1 名採用 (行政職からの身分替え) 実員 5 1 名
平 18	3	31	消防職員 2 名退職・1 名職務復帰 (行政職職員) 実員 4 8 名 初代安芸高田市消防本部消防長 村上 紘 退職
平 18	4	1	二代目安芸高田市消防本部消防長 竹川信明 就任 二代目安芸高田消防署署長 森田耕司 就任 消防職員 1 名採用 (行政職からの身分替え) 行政職からの出向消防職員 1 名採用 実員 5 0 名
平 18	12	31	消防職員 1 名退職 実員 4 9 名
平 19	1	6	安芸高田消防署北部分駐所安全祈願際
平 19	2	28	救助工作車 (低床 4 WD・クレーン装置・高圧噴霧装置付) 購入
平 19	3	1	救急補助員 4 名採用 実員 4 名
平 19	3	16	消防用広報自動車購入 (トヨタ サクシード)
平 19	3	22	高規格救急自動車購入 (トヨタ ハイメディック)
平 19	3	29	安芸高田消防署北部分駐所竣工式
平 19	3	31	消防職員 2 名退職 実員 4 7 名 二代目安芸高田消防署署長 森田耕司 退職
平 19	4	1	三代目安芸高田消防署署長 高松勝司 就任 消防職員 2 名採用 実員 4 9 名 安芸高田消防署北部分駐所業務開始
平 19	8	31	消防職員 1 名退職 実員 4 8 名
平 20	3	31	消防職員 2 名退職・2 名職務復帰 (行政職職員) 実員 4 4 名 三代目安芸高田消防署署長 高松勝司 退職

平 20	4	1	四代目安芸高田消防署署長 久保高憲 就任 消防職員 3名採用 行政職からの出向消防職員 1名採用 実員 48名
平 20	4	28	消防職員 1名退職 実員 47名
平 20	5	31	救急補助員 1名退職 実員 3名
平 20	6	1	救急補助員 1名採用 実員 4名
平 20	6	30	救急補助員 1名退職 実員 3名
平 21	2	26	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車 (いすゞ 低床 4WD・泡消火薬剤積載) 購入
平 21	2	28	救急補助員 1名退職 実員 2名
平 21	3	31	消防職員 4名退職・1名職務復帰 (行政職職員) 実員 42名 二代目安芸高田市消防本部消防長 竹川信明 退職
平 21	4	1	三代目安芸高田市消防本部消防長 光下正則 就任 消防職員 6名採用 消防職員 1名採用 (行政職からの身分替え) 行政職からの出向消防職員 1名採用 実員 50名

歴代消防長

(平成21年4月1日現在)

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	村上 紘	H16. 3. 1 ~ H18. 3. 31	
2代	竹川 信明	H18. 4. 1 ~ H21. 3. 31	
3代	光下 正則	H21. 4. 1 ~	

(高田地区消防組合分)

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	佐々木 末雄	S46. 12. 10 ~ S48. 12. 31	事務取扱
2代	児玉 静秋	S49. 1. 1 ~ S55. 11. 17	
3代	佐々木 末雄	S55. 11. 18 ~ S56. 2. 18	事務取扱
4代	児玉 静秋	S56. 2. 19 ~ S63. 3. 31	事務取扱
5代	村上 紘	S63. 4. 1 ~ H16. 2. 29	

歴代消防署長

(平成21年4月1日現在)

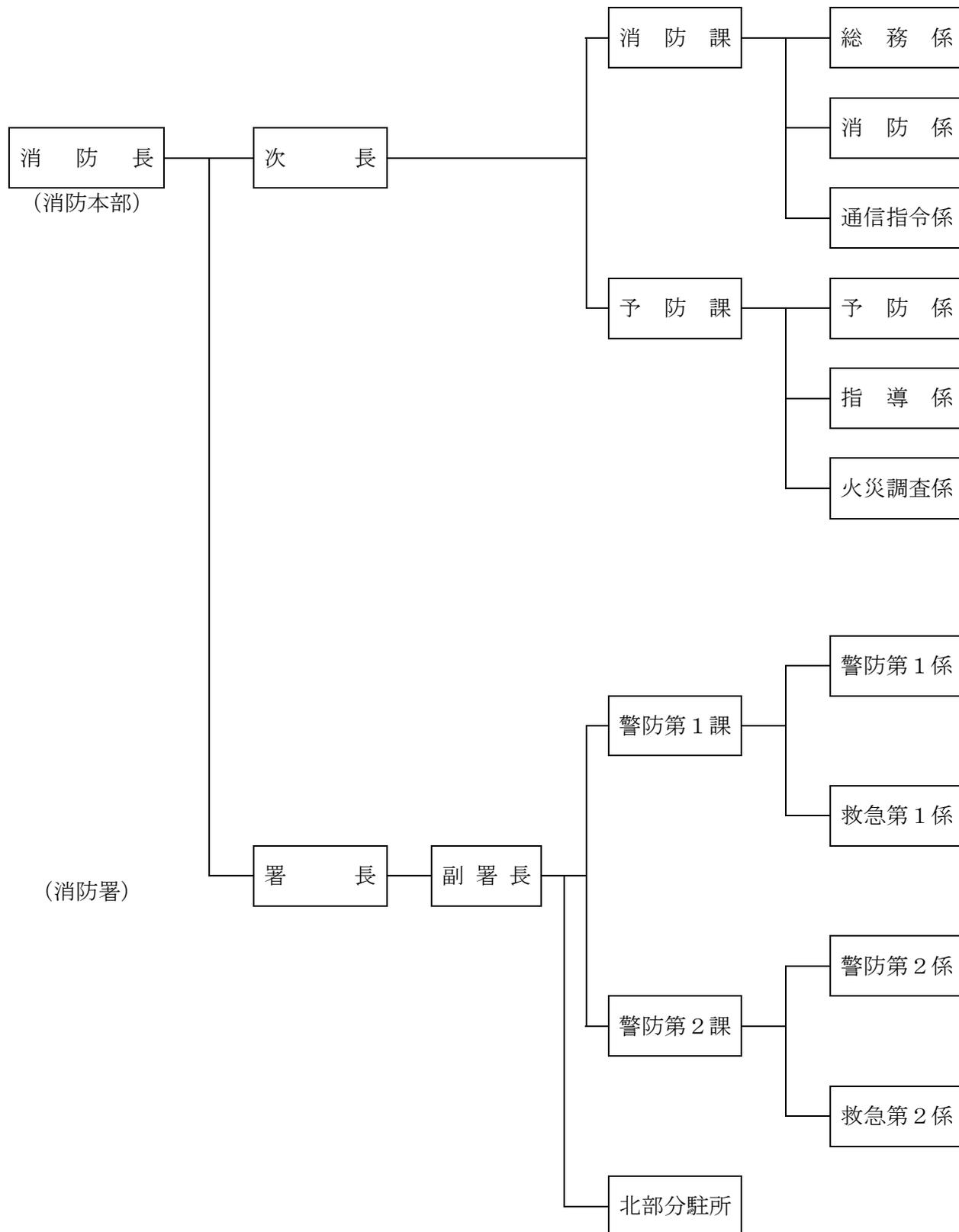
歴代	氏名	在職期間	備考
初代	竹川 信明	H16. 3. 1 ~ H18. 3. 31	
2代	森田 耕司	H18. 4. 1 ~ H19. 3. 31	
3代	高松 勝司	H19. 4. 1 ~ H20. 3. 31	
4代	久保 高憲	H20. 4. 1 ~	

(高田地区消防組合分)

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	児玉 静秋	S48. 4. 1 ~ S49. 12. 31	
		S49. 1. 1 ~ S55. 11. 17	事務取扱
2代	村上 紘	S55. 11. 18 ~ S63. 3. 31	
		S63. 4. 1 ~ H11. 3. 31	事務取扱
3代	竹川 信明	H11. 4. 1 ~ H16. 2. 29	

6 安芸高田市消防本部及び安芸高田消防署組織図

(平成21年4月1日現在)



7 平成20年度重点施策

基本方針……「安全・安心で住みよいまちづくり」

- 重点施策
- 1 消防防災体制の充実・強化
 - (1) 分駐所運用体制の確立
 - (2) 消防団との連携強化

 - 2 救急高度化への対応
 - (1) 救急救命士再教育の充実
 - (2) 市民への応急手当の普及拡大

 - 3 査察の強化
査察の重点的实施

 - 4 財政の効率的運用
財政執行体制の改革

8 消防応援協定締結状況

区 分	協 定 先	締結年月日	区 域
広島県内広域 消防相互応援協定	県下市町及び消防組合	昭和 62.10. 1	県 下 全 域
広島県内高速道路 消防相互応援協定	県下4市1町7消防組合	平成 5.10.26	県 内 高 速 道 路
県境隣接広域 消防相互応援協定	邑 南 町 江津邑智消防組合	平成 16.11. 1	邑 南 町 江津邑智消防組合
広島県内航空 消防応援協定	広 島 市	平成 2. 4. 1	安 芸 高 田 市
広島県防災ヘリコプター 応 援 協 定	広 島 県	平成 8. 7.11	安 芸 高 田 市